

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
(2026年10月 検針分)

2026年5月 ～ 2026年7月 のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。
なお、2026年10月分(9月使用・10月検針分)のガス料金には、政府支援を踏まえた値引き「電気・ガス料
支援」が反映されています。

●平均原料価格

	単位	2026年4月 ～ 2026年6月	2026年5月 ～ 2026年7月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	93,150	100,400	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	121,240	123,050	
平均原料価格	円/トン	94,960	101,970	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0. 9541＋LPG平均価格×0. 0502 (10円未満端数四捨五入)

原料価格変動額

=

平均原料価格

-

基準平均原料価格

(平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)

=

101,970

-

46,100

=

55,800

円/トン

(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金

=

(基準単位料金

+ 0.084×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率))

-14.0円※1

(小数点第3位以下の端数切捨て)

※1:政府支援で14.0円/m³(税込)が値引きされます。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2026年10月 検針分 調整単位料金 ※3	調整額 (B)－(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	222.65	260.20	37.55
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	163.59	201.14	37.55

	単位	(A) 2026年9月 ※2	(B) 2026年10月 ※3	(B)－(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	249.74	260.20	10.46
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	190.68	201.14	10.46

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

2026年10月 検針分の単位料金は、2026年9月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
10.46 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 272 円の調整を行うこととなりました。

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2026年9月 ※2	(B) 2026年10月 ※3	影響額 (B)－(A)
26	7,128	7,400	272

計算式・・・基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)

※2： 政府支援を踏まえた18.0円/m³(税込)の値引きがされています。
※3： 政府支援を踏まえた14.0円/m³(税込)の値引きがされています。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援」
をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp)